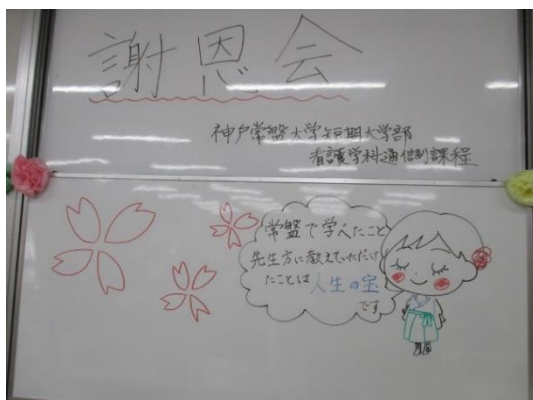


平成 29 年度 学位記授与式ならびに謝恩会が挙行されました。

3月10日(土)本学メインホールにて、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部の学位記授与式(卒業式)が行われました。看護学科通信制課程から、111名が卒業しました。

2年で卒業した学生、3年で卒業した学生、それ以上かかってしまった学生、再受験して再入学後に、やっと卒業できて、喉につかかった骨がやっととれた、10年間の思いをあつく語ってくれた方もいらっしゃいましたが、苦労の日々にも意味がある、無駄な1日はなかった、それだけの価値があったと自負され、無事にこの日を迎えられたことを共に喜び、皆明るい笑顔で、思い思いに装い、誇らしげでした。東京都や熊本県、広島県など遠方からも、多くの出席者がありました。



学位記授与式終了後、卒業生有志による謝恩会が本学で行われました。

学長先生もご参加くださり、卒業生の皆さんに熱いエールを送っていただきました。

一方、卒業生の皆さんからは、自らの卒業にこぎつけるまでの苦労を思い思いに正直に

語っていただき、会場内は、感動が渦巻いていました。

特に、スクーリングの初日に熊本の自宅が大震災にあわれ、神戸から急遽、帰宅したが交通網が遮断されていたため、自宅に到着するまでに12時間以上も要した。なんとか家族は無事であったが、職場は被災者の受け入れ等で激務のなか、苦難を乗り越え2年間で卒業に至ったのは仲間や先生の支えがあったからこそというお話を伺い、目頭が熱くなりました。短い時間ではありましたが、皆さん頑張って手にした学位記に、誇りと自信を持ち、また、支えてくれた人たちへの感謝に満ちた、感動的で思いのこもった会となりました。



濱田学長より祝辞をいただきました

ご卒業おめでとうございます。
今後のご活躍とご健康をお祈りします。お元気でご活躍ください。
通信制課程教職員一同

